

平成28年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小林 昌幸
		全体計画						経費区分		-		内線	3630
事務事業名	4317 生涯学習推進事業												
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課												
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100608 教育費・社会教育費・生涯学習推進費											
	事業	010000 生涯学習推進事業											
事業目的							事業概要・効果						
<ul style="list-style-type: none"> ・市民に分かりやすく、楽しめるイベントを関係機関が連携し提供する。 ・生涯学習指導者(リーダー)の高齢化が進み、新しいリーダー養成と学習成果が発揮できる舞台の提供。 							<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードは「つなぐ」と「連携」 ・生涯学習推進期間を重点においた行政が一体となった連携講座「生涯学習スタンプラリー」の開催(連携の幅を更に広げる) ・参加してよかった!と思える講座の開催 ・地域の優れた人材活用と、市民が楽しく学習できる講座の提供 ・須坂の自然・歴史・文化などの良さを市民に知っていただき、「須坂」が好きになる学習機会の提供 						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の優れた人材を活用し、多様な学習ニーズに対応した「生涯学習出前講座」メニューの拡大と更なる推進を図る。 ・生涯学習指導者(リーダー)の高齢化が進み、若い指導者(リーダー)を養成する講座の開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各課が連携した講演会等の開催 ・生涯学習関係機関が連携した生涯学習スタンプラリー(仮名)の開催 ・須坂の歴史、文化遺産の伝承継続目指したインストラクターの養成
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		5,437	5,925
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	17	16
一般財源	5,420	5,909	
人員数(人)	正規職員	2.0	1.0
	嘱託職員	1.0	2.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	14,416.0	7,208.0
	嘱託職員	2,705.0	5,410.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	17,121.0	12,618.0
市民一人当たりの経費	0.4	0.4	
総額	22,558.0	18,543.0	

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	407	須坂市民総合大学、須坂学舎、まなび一号(隊)
11節 需用費	1,836	消耗品費、食料費、印刷製本費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,194	

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	495	須坂市民総合大学、須坂学舎、市民のつどい、インストラクター養成講座、まなび一号(隊)
11節 需用費	2,022	消耗品費、食料費、印刷製本費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,408	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	普通
評価コメント	市民に分かりやすく、参加しやすい事業を関係機関が連携し提供する。また、生涯学習指導者(推進リーダー)の高齢化が進み、養成と学習成果が発揮できる舞台の提供がひとつである。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	生涯学習推進期間を重点においた連携講座の開催や、地域の優れた人材活用による須坂の自然・歴史・文化を知っていただく「須坂」が好きになる学習機会の提供は、有効性がある。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	費用対効果が測定しづらい側面がある。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

各課連携による講演会等の開催、生涯学習関係機関が連携した事業の開催や、須坂の歴史、文化遺産の伝承継続を目指したインストラクターの養成など一定の成果を上げている。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
公民館など類似機関と施設の在り方について検討する必要がある。		生涯学習推進員の地域における活動のより一層充実するための方策について検討の必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	